

国際婦人デー3・5東京集会に寄せられたメッセージ

在日韓国民民主女性会からのメッセージ

連帯辞

3・8精神を胸に刻んで

在日韓国民民主女性会

国際婦人デー3・8精神を高く掲げる婦人集会を連綿と継続された実行委と参加者のみなさんに敬意をこめ、連帯のあいさつを送ります。

世界的なコロナ禍の蔓延で日本国内では平和よりお金、平和より戦争、和解より差別を基調とした政策がとられ、働く者とくに非正規の女性労働者が苦境に立たされています。日本政府は架空の「北の脅威」をねつ造し改憲の動きを進めています。

この状況下、韓国では三月九日に大統領選挙が行なわれます。韓国一〇〇年の負の歴史に終止符を打つためにも決定的な選挙になります。キャンドル革命の継続と積弊清算、戦後補償問題の解決、朝鮮半島の平和と統一に寄与する候補を韓国内と海外同胞の総力で勝ち取らねばなりません。

共に民主党の李在明候補は、朝鮮半島の平和と経済発展、民生、明るい未来のために先頭に立つと公約しています。いっぽう、国民の力の尹錫悦候補は、米国の対北敵視政策に迎合して「先制攻撃」とサードの追加配備などを公約にしています。さらに韓米日軍事同盟の強化と朝鮮半島有事に自衛隊の上陸を容認する発言をしています。大統領候補の資格すらありません。歴史が暗黒の時代に戻るか否かの決戦です。世界の平和を熱望する思いが実を結ぶことを確信します。米国の覇権主義に追従する韓日の好戦反動勢力の思惑を打ち崩しましょう。

わが国は日帝植民地から解放された後も朝鮮戦争を経て休戦状態に置かれています。朝鮮戦争で米軍に女性たちは凌辱され、民衆は殺害されました。戦争の姿は殺人と女性に対するレイプです。朝鮮の母たちの怒りと悲しみは今もいえない。当時の『わたしたちは告発する「国際民婦連」』の朝鮮戦争実態報告書にも鮮明に記されています。

日本政府は北のミサイル発射実験を口実に敵基地攻撃能力保有を語り「歴史戦」の必要を訴えました。日本の「名誉」と「誇り」を守ることは「歴史修正」でなく真実の歴史と対面することです。日本軍「慰安婦」問題を解決するための水曜デモは三〇年を数えます。日本軍「慰安婦」や徴用工・佐渡金山の強制連行に対する賠償と事実否定、朝鮮幼保・朝鮮高校無償化排除などは、日本の名誉と誇りを傷つけています。

歴史は個人史に宿ると言いますが、人の幸不幸も歴史に規定されています。在日韓国人として誇りをもって生きるには誇らしい統一祖国の実現が必要なのです。分断の歪みが南北に、個人の心に深く傷つきました。わたしたちは七〇年も第二の朝鮮戦争を米国の野望から民族の英知と気概で防いできました。いいかえると七〇年の朝鮮休戦体制は、民族の哀しみや怒りであり、民族と人類の恥でもあります。

非武装地帯の地雷が取り除かれる日、兵役のない韓国、韓米軍事演習が中止される真に平和なその日を勝ち取る日々のなかで諸問題の解決を強く望みます。

3・8精神が世界の女性たちの一人ひとりの胸に刻まれ、女性たちの連帯を形づくりそれぞれの場で戦争に反対し、女性の権利を勝ち取りましょう。

二〇二二年三月五日

(『思想運動』1075号 2022年4月1日号)